

ボイストレーニング Lesson2 『耳コピー』

バンドをされている方なら『耳コピー』という言葉聞いた事があると思います。

『耳コピー』とは、耳で聴いて同じように演奏する(コピーする)という事で、楽譜がない曲を演奏したい時なんか「この曲は耳コピーしようか。」といった使い方をします。

この『耳コピー』が、歌う事と深く関わっているのです。

歌が上手な人ほど『耳コピー』するのが早く、正確で、耳がよく逆から言えば、耳がいい人には歌が上手な人が多いです。

歌の上達を目指すなら、この『耳コピー』をしない手はありません。『耳コピー』が上手な人ほど歌が上手なわけですから、是非やってみましょう！

・・・ところが『耳コピー』と聞くと、「ある程度の技術がついてからでないと・・・。」というイメージがあるようで、多くの方が「耳コピーなんてムリムリ！」といった先入観を持っているようです。

でもよく考えてみて下さい、耳で聴いた音と同じ音を出すのが『耳コピー』です。

確かにギターやキーボードなんかは、和音(コード)で鳴っていて、同時に何コもの音が鳴っていたり、物凄いテクニックを駆使したソロパートであったりと、いくつもの壁があるかもしれません。

でも、歌を『耳コピー』して心配なのは、せいぜい「高い音が出ないかも。」という事くらいです。

人間には、聴いた音と同じ音を出す、という能力があります。
これは、赤ちゃんが両親や周りの音を聞いて、それを真似ようとする能力に由来すると言われています。

誰もが赤ちゃんの時に『耳コピ』の下準備をしているのかもしれませんがね(笑)

そしてもう一つ、
人間には、音を聴き分ける、という能力もあります。
自分の聴きたい音だけに集中して聴くことができるのです。

この2つの音に関する能力は、誰にでも備わっています。
それに、何度も繰り返しトレーニングすることで、どんどん精度を上げていく事ができます。

最初から無理だと諦めずに、試してみましよう！

では、実際に『耳コピ』をするにはどうすればいいのかをご紹介します。
まず、自分の好きな曲や、歌ってみたいと思う曲、それ以外にも
この人ウマイなあ〜と思うアーティストのCD、音源をいくつか用意しましょう。

それを聴いていくのですが、次のような事に気を付けて聴いてみてください。

1. 普段通りに聴く。
2. 全体の構成(どんなパートがあるのか?)という事を意識して聴く。
3. ドラム→ベース→その他の楽器、という順番で
各パートの音だけに集中して聴く。
4. 全てのパートを聴き取れるようになったら、その後もう一度全体を聴く。
この時、『今まで聴いた全てのパートをまとめて聴くんだ』という意識を
しっかりと持っていて下さい。
5. 実際にCDに合わせてボーカルパートを歌い、それを録音する。
6. 録音した自分の歌を聴いて、CDと違うところ(音程やリズム)
がないかをチェックする。
7. 違うところがあれば、もう一度CDを聴き直す。

1～4ができるようになれば、後は5～7の繰り返しになります。
『耳コピ』が上達すれば、今度は戻って1～4を繰り返してみましょう。
さらにバックの演奏に馴染んで歌う事ができるようになります。

いかがでしょうか？

各パートに集中して聴いてみると、曲の聴こえ方が
今までと少し違ってくると思います。

これを、色々なジャンル、アレンジの曲で試してみてください。
耳に色々な音を馴染ませて、聴力を鍛えていく事が
歌唱力にも深く関係してくるのです。

※注意

最初のうちは、ベースが聴き取りにくいかもしれません。
曲中で鳴っている一番低い音がベースなのですが、
ドラムが“リズム”と“ダイナミクス”を担当しているのに対し、
ベースは“リズム”と“コード”を担当していて、音楽の中で非常に重要な役割を
担っています。

ベースを聴き取るのは難しいかもしれませんが、何度も聴いていれば
必ず聴こえるようになります。

重要なパートなので、諦めずにチャレンジしてみましょう！

このトレーニングは、音楽を聴いている時ならいつでもできるので、
できるだけいつも意識する事をオススメします。

音楽をプレイする側の人にとって、“聴く”という行為はとても大切な事なのです。